

(2016年4月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

2016年5月6日

<ポイント>

【政治】

- 4月24日に予定されていた選挙の延期。
- 選挙評価検証委員会の発足。

【経済・社会】

- 3月インフレ率，前年同月比+14.8%。

1 政治（内政，外交）

- 1日 デリエンヌ（Pierrot DELIENNE）外相は第10回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）外相会談（於：ドミニカ共和国）に参加。
- 12日 プリヴェール（Jocelerme PRIVERT）暫定大統領は大統領府にて選挙検証委員会の発足を巡り政党関係者及び市民団体の代表者らと会談。同委員会のTORを検討する小委員会が発足。
- 14日 小委員会が，選挙検証委員会のTORに関する報告書を提出。
- 15日 マルテリー（Michel MARTELLY）前大統領が，プリヴェール暫定大統領宛で，2月5日の合意の遵守と選挙の早期実施を求める書簡を発出。
- 17日 臨時選挙管理委員会（CEP）の広報担当者が24日の選挙を延期する旨発言。選挙延期及び振替日程に関する公式のコミュニケは発出されず。
- 20日 ケリー（John KERRY）米国务長官が米メディアに対して語った，ハイチに対する国際社会の「忍耐の限界」発言が国内で報道され波紋を呼ぶ。
- 22日 プリヴェール暫定大統領が気候変動協定署名式へ参加。
- 24日 プリヴェール暫定大統領は記者会見で，大統領選挙は2017年1月に任期満了を迎える上院議員10名の改選選挙とあわせて10月の最終日曜日に実施される可能性と発言。
- 25日 潘基文国連事務総長は，選挙の延期に関する深い懸念と早期の選挙実施を求める声明を発表。
- 28日 選挙評価検証委員会（Commission d’Evaluation et de Verification Electorale）が発足。
- 28日－29日
ケネス・マーテン（Kenneth MARTEN）米国务省ハイチ特別調整官がハイチを訪問。プリヴェール暫定大統領他と会談。選挙の早期実施を求めた。

2 経済・社会

- 7日 国連人道問題調整事務所（OCHA）が，食料不足やコレラ対策等の課題に対処するため，人道支援対策計画アピールとして，2016年度分，約1.94億米ドルのアピールを発出。
- 12日－13日
豪雨のため西県レオガン（LEOGANE）市内の河川が氾濫。773世帯が被災。
- 18日 国連WFPはハイチ国民100万人を対象に緊急食料支援を決定。長期化する干ばつ被害がもたらした食糧難のため。

- 21日 3月インフレ率，前年同月比＋14.8%。
- 24日 豪雨のため首都ポルトープランス（PORT-AU-PRINCE）で地崩れ等により4612世帯が被災。4名の死者。

3 文化・その他

- 5日－12日
第5回ケベック映画フェスティヴァルがポルトープランスで開催。